

令和7年度 学校自己評価システムシート (さいたま市立 仲町 小学校)

学校番号 012

【様式】

学校教育目標	明るく 正しく たくましく ~自ら学び、共に生きる子どもの育成~
目指す学校像	子どもたちの自信をはぐくみ、保護者・地域の信頼に応える学校 ~笑顔が輝き、あいさつが響き合う仲町小~

重点目標	1 個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指すため、ICTを効果的に活用し、日々の授業を充実する 2 安全・安心で健康な学校に向けて、教育環境の整備や生徒指導・教育相談・食育活動を推進する 3 コミュニティ・スクールを通し、学校・家庭・地域の三者が「教育の当事者」として連携・協働を進める 4 教職員一人ひとりが力を発揮し、誰もが居心地よい(Well-Beingな)教師・教師集団を構成する
------	--

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

年度		学校自己評価			年度評価		学校運営協議会による評価	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	【学びの質の向上に関する取組】 (現状) ○前年度の全国学力・学習状況調査において、国語・算数ともに全国や市の平均に比べ良好である。 ○学校評価の授業に関する評価において、保護者・児童の肯定的な回答が90%に達している。 (課題) ○新しい学びを積極的に取り入れ、学びの自立化を推進していく必要がある。 ○市学習状況調査の結果では、個人差があり学力の底上げを図る必要がある。	・学びの自律化の推進 ・個別最適な学びの充実と学力の底上げの実現	1 管理職による定期的な巡回指導と指導訪問等を踏まえた授業改善 2 全国学力学習状況調査の振り返りと、学力向上カウンセリングの実施と指導方法の改善 1 全ての学級において学力の底上げに向けた現状の把握と解決に向けた取組を実施 2 学年会、教科等部会の充実による組織的な児童支援を推進 3 教職員のICTスキルを高めるための研修の充実	1 全国学力・学習状況調査において、国語、算数が、前年度の市平均以上を維持することができたか 2 学調の振り返り、カウンセリング研修を実施したか 1 学力の底上げを達成できた学級数 2 学校自己評価の児童と保護者の授業評価において、肯定的評価を維持できたか 3 市学力状況調査において、学力の底上げが図られたか	・全国学力学習状況調査では、国語、算数共に市の平均を大きく上回ることができた。また、児童の授業評価において高い児童授業評価(低95%高94%)であった。 ・学力向上カウンセリング研修を実施し、全国学力学習状況調査結果の考察や共通理解を行うことで、教員一人ひとりが日々の授業に生かすようにした。 ・すべての学級において、学力の底上げに向けた取組を行い、成果を上げることができた。 ・保護者の授業評価は、93%(昨年度93%)と高い評価を維持している。 ・年間4回の研究授業及び研究協議会(校内研修)を行うことで、教職員のICTスキルを高めるとともに、個別最適な学びと学力の底上げの実現に努めた。	A	・引き続き、教科担任制の継続と指導の充実に努める。 ・全国学力学習状況調査やさいたま市学習状況調査などを踏まえ、児童の実態や社会の要請を踏まえた指導の充実に努める。 ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させることにより、自分の考えをもち、共に学び合う子どもの育成を図る。 ・ICT機器とクラウド環境を活用した授業を積極的に行い、引き続き、授業力向上に努める。	・ICT機器とクラウド環境の活用については、端末の利用が目的とならないように、効果的な活用方法について情報収集し、推進してほしい。 ・読む活動や書く活動も大切なので、二項対立ではなくそれぞれの良いところを活用してほしい。
2	【子どもの発達や心のサポートに関する取組】 (現状) ○いじめや長期欠席者の対応では、早期発見に努めるとともに、関係機関と連携するなど組織的に対応している。 (課題) ○心と生活のアンケート等による子どもの悩みの把握や、いじめの認知を積極的に行うなど、早期対応に向けた取組の一層の充実を図る必要がある。	・子どもの発達や心のサポートに関する積極的な指導の充実 ・子どもの発達や心のサポートに向けた組織的な対応の充実	1 心と生活のアンケート等(毎学期)の結果を受けて、迅速な面談と記録の実施 2 道徳の時間を中心とした考える道徳教育の実施と公開 1 日常の事件・事故の報告・連絡・相談・確認と、緊急時の組織的な対応 2 SC、SSW、市教委、区支援課、児相、相談室、警察等との連携	1 心と生活のアンケート設問3「生きていてもしかたがないと思う」に該当する児童に、即日面談を実施したか 2 授業参観・学校公開等で年に1回以上、全学級が道徳を公開したか 1 事案発生時は組織的に即日対応を実現したか 2 学校自己評価の教員の「いじめ対応」についての評価で、肯定的評価を維持できたか	・心と生活のアンケート設問3「生きていてもしかたがないと思う」に該当した児童については、即日面談するとともに保護者への連絡、経過観察を徹底した。 ・Solaの一むの人的環境を整えたことで、定期的にSolaの一むを活用する児童が増えた。長欠児童も昨年度に比べ8名減少した。 ・授業参観・学校公開等で年1回以上、全学級が道徳を公開した。 ・必要に応じて関係機関と連携を図りながら、事案発生時には組織的に即日対応を行った。 ・「いじめ対策」について教職員から肯定的評価100%(昨年度96%)という評価を得ることができたが、長欠児童については、引き続き課題がある。	A	・心と生活のアンケートやおはようメーターなどの情報を踏まえて、適切な生徒指導・教育相談を行う。 ・引き続き、道徳の時間を中心とした考える道徳教育を推進し、子どもの発達や心のサポートに関する積極的な指導の充実に努める。 ・引き続き、事案発生時の即日対応と、組織的な対応に努めていく。 ・Solaの一むの持続可能な運営について検討し、環境を整備することで、長欠児童の減少を図る。	・いじめや長欠児童の対策については、子どもたちが安心して生活ができるよう、引き続き取り組んでほしい。 ・高学年になるにつれて、悩みの相談相手として、友達の存在も大切になってくる。地域や学校の行事など、友人関係を良好に保つ取り組みも大切にしてほしい。
3	【地域とともにある学校づくりに関する取組】 (現状) ○学校運営協議会とSSNが連携・協働し、地域とともにある学校づくりを推し進めている。 ○チャレンジスクールやPTA、育成会等との連携により、保護者や地域の教育力を生かした教育活動を展開している。 (課題) ○学校教育の充実や地域との連携の強化のため、施設設備の有効活用を図る。 ○学校運営協議会とSSNとの連携により、児童の学校安全に関わる活動を検討、実施する。 ○地域の教育力を生かした教育活動を実施する。	・学校運営協議会とSSNとの連携・協働 ・地域や関係諸機関と連携した教育活動の実施	1 学校・家庭・地域が連携・協働する植栽活動等の実施 2 学校運営協議会委員による行事参観を通した「地域とともにある学校づくり」の推進 3 SSN団体や体育施設開放団体との連携による開かれた学校づくりの推進 1 学校・家庭・地域の方々との給食会食の実施 2 地域のヒト、モノ、コトを活用した教育活動の実施 3 迅速な情報発信のために、学校安心メールの活用と、配布文書の電子化	1 学校自己評価の地域との連携についての評価で、保護者の肯定的評価が向上したか 2 学校・家庭・地域が連携した、植栽活動を実施できたか 3 地域主催行事に参加できたか 1 給食試食会を実施できたか 2 地域のヒト、モノ、コトを活用した教育活動の実施できたか 3 配布文書を電子化し、適時適切に閲覧できるようにしたか	・保護者の肯定的評価は、95%(昨年度93%)となり向上させることができた。 ・関係機関と地域の方々との連携し、人権の花の植栽活動を実施した。 ・浦和まつり、北浦和阿波踊り、浦和区民まつりに金管バンドの児童が出演した。また、育成会主催の観劇鑑賞会に275名、書初め練習会に100名参加があった。 ・給食試食会を実施することができた。 ・食育や福祉教育に係る学習の際に、地元農家、地域の方々や児童が関わる活動を実施した。また、PTAや地域と連携し6年ぶりに運動会を1日開催とした。 ・PTA主催サイエンスマジックショーを開催した。 ・スクリレを導入し積極的・効率的な情報提供を行った。	A	・地域主催行事への出演や作品提供、参加等、積極的に奨励していく。 ・引き続き、学校運営協議会・SSNの日に合わせて授業参観や給食を子ども達と食べる機会を設けるなど各団体との連携を引き続き図っていく。 ・学習に効果的な地域の人材や施設等は教育課程に位置付けていく。 ・PTAの各事業や自治会・育成会事業などに積極的に協力することで子どもたちの健全育成を図る。	・各自治会や育成会で、児童を対象としたさまざまな活動を行っている。 ・地域行事への参加については、低学年や中学年の参加は多いが、高学年の参加に課題がある。保護者や学校とも協力して、地域全体として対策を考えていきたい。
4	【教育環境の整備に関する取組】 (現状) ○交通事故の未然防止のため、関係機関と連携し計画的に安全教育を実施している。 ○食物アレルギー事故防止のため、複数人でチェックを実施し対応している。 (課題) ○登校時間が守られておらず、多くの児童が職員不在のまま30分以上校舎内で待機している状況がある。 ○施設の老朽化が進んでおり、予算を計画的に執行し、施設等の不備を早期に発見、早期に対応していく必要がある。	・安心安全な学校指導の充実 ・安心安全な教育環境の整備	1 交通事故や食物アレルギー事故の未然防止のため、日々の生活指導と計画的な安全教育の実施 2 事故発生時に適切な対応を行うための計画的な研修の実施 3 あいさつ運動の定期的な実施や育成会と連携した登下校指導の実施 1 安心・安全な教育環境の整備のための登校時間の遵守について保護者と地域の方々に協力依頼 2 予算委員会を通して精査しながら必要なものを整備するとともに、施設等の不備を早期に発見し対応	1 教員・児童・保護者の学校安全の評価で、肯定的評価を維持できたか 2 安全に関わる研修や訓練を全て実施することができたか 3 あいさつ運動の定期的を通して、保護者の「あいさつ」に関する肯定的回答が向上したか 1 保護者と地域の方々の協力の下、登校時間が遵守されているか 2 毎月の安全点検を確実に実施し、施設等の不備の対応ができていくか。大規模な修繕等については、市教委と連携して対応しているか。	・教員95%(昨年度96%)、児童98%(昨年度98%)、保護者89%(昨年度88%)でほぼ横ばいであった。 ・安全に関わる研修や訓練を全て実施することができた。 ・保護者の「あいさつ」に関する肯定的回答78%(昨年度77%)となり、向上することができた。 ・保護者、地域の方々の御協力により、登校時間前の校舎内に児童が待機することがなくなった。また、朝の正門前の事故をゼロにすることができた。 ・毎月の安全点検を確実に実施し、安全面に係る不備については即日中に一次対応を行った。規模の大きい修繕については、市教委と連携して対応した。	A	・安心安全な学校指導の充実に向け、引き続き日々の生活指導と計画的な安全教育の実施を図る。 ・あいさつの指導については、学校で引き続き指導を行うとともに家庭や地域での協力を呼び掛ける。	・あいさつの励行について、児童と保護者とで肯定的な回答に差異がある。学校、家庭、地域で協力し継続的に指導していく必要がある。 ・下校時の安全確保について、ヒヤリハットマップなども活用しながら、地域ぐるみで児童が安心して帰宅できる環境づくりを一層推進していく必要がある。 ・施設の老朽化について計画的に対応を進めてほしい。
5	【教職員のキャリア形成に関する取組】 (現状) ○学校課題研修では一人当たり年間2回以上の研究授業を行い授業力の向上に努めている。 ○健全で持続可能な学校運営のために、全校を挙げて働き方改革を推進している。 (課題) ○授業力を高めるための研修体制の充実。 ○やりがいを持った働き方推進のため、学校全体で業務改善と業務の平準化を進める。	・校内研修を核とした研修の実施 ・教職員のやりがいを高める働き方改革の推進	1 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る校内研究授業の実施 2 自己評価シートとキャリア振り返りシートを活用した当初面談における研修奨励の実施 1 教職員自身の出退勤時刻の把握と管理職の指導助言の実施 2 学校組織全体での協力体制の下での計画的な年休取得と教職員の自己研鑽	1 学校自己評価の教員の「授業評価」で、肯定的評価を維持できたか 2 当初面談において、研修奨励を実施したか 1 学校自己評価の教員の「授業評価」で、肯定的評価を維持できたか 2 当初面談において、研修奨励を実施したか 1 時間外勤務時間が昨年度の月平均24時間7分を下回ることができたか 2 人事異動調査書の満足度についての肯定的回答率が向上したか	・教員の授業評価では肯定的評価98%(昨年度100%)と高い評価を維持することができた。 ・当初面談での研修奨励と達成状況面談での振り返りを行い、教職員が自らの研修の見直しを持たせることに努めた。 ・時間外勤務時間については、月平均22時間8分で目標を達成することができた。 ・満足度については、63.6%で仕事の満足度肯定的評価60%以上を達成できた。(R6:55.8%)	A	・学校教育目標の具現化のため、ICT機器を積極的に活用した学びの自律と個別最適化を図る。 ・キャリア指標を踏まえ、教職員が主体的に取り組めるような個人研修を推奨していく。 ・引き続き「計画年休」や「一残業デー」を推進するとともに一人の教員が仕事を抱え込まないように組織で対応する体制を継続する。	・教職員の過重労働が社会的な課題となっている。教職員がキャリア形成に主体的に取り組めるよう推進していくとともに、教職員の働き改革も推進し進める必要があり、両者のバランスを適正に保ちながら施策を進めてもらいたい。

学校運営協議会による評価
 実施日令和8年2月26日
 学校運営協議会からの意見・要望・評価等

